

第四番札所 金出大日堂

金出の古屋
藤三祠を南下
すると金出の
公民館があります。公民館
の東にはわざ
かばかりの境
内に小さなお
堂が建つてい
ます。これが
4番札所です。

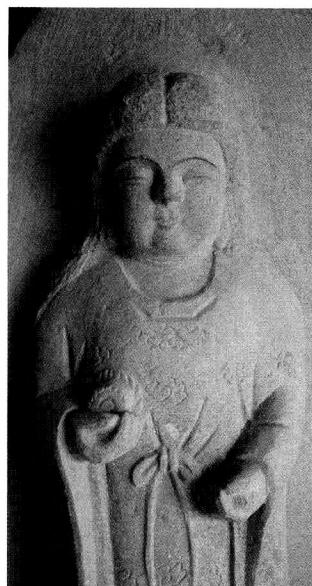
お堂の右手に並ぶ石仏
を一つ一つじっくり見て
いくと、実に愛らしい表
情の一体を見つけること
ができました。

その台座には以下の銘
文があります。

篠栗歴史遍路編 [その8]

修行大師世話人
三浦キヨ
富永キヌ
高木ユキエ
松田ノブヲ
内堀キク
淡島大明神
篠原アサ
重松サダ
鎗アイ
白井チヨ
古川シゲ
山本トモ

この石像は、仏像では
なく、淡島（粟島）様の
神像であるようです。寄
進者11人の全員が女性で
すから、きっと婦人の守
り神ということで淡島神
を奉納したのでしょう。



ときは紀元（皇紀）
2600年。神仏像の建
立も奉祝の一環だったの
かもしません。

日仏共同篠栗民俗調査団
慶應義塾大学非常勤講師
中山 和久

この像は境内の南端に
あり、本堂に相対して建
てられています。弘法大
師が修行のために行脚し
ます。

この像は境内の南端に
あり、本堂に相対して建
てられています。弘法大
師が修行のために行脚し
ます。

境内には修行大師の石像もあったの
です。

この像は境内の南端に
あり、本堂に相対して建
てられています。弘法大
師が修行のために行脚し
ます。

つまり、4番札所に修
てている姿を表現しており、
右手には杖を、左手には
鉢を持ち、荷物を背負つ
た旅姿になっています。
像の右手前には「修行
大師寄附者」として50人
ほどの名前を刻んだ石柱
が立てられていますが、
その中で個人として最も
多く寄附されたのが、
高額の十円を寄付した3
人が、淡島神像の寄進者
として筆頭に挙げられて
います。淡島像には建立年名が
ありませんが、先の石柱
に「昭和十五年四月吉日」
とありますので、両像ともに
1940年に建立されたので
しょう。